

市川市議会では、年4回の各定例会で、交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表が市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、質問通告のあった会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。※6月定例会の代表質問は6月7日に通告を締め切り、6月15日から4日間の日程で行いました。

代表質問

公明党



〔補足質問者〕
西村 敦

小山田直人

〔総括質問者〕
久保川隆志

浅野 さち

中村よしお

宮本 均

大場 諭

堀越 優

河川水位情報の見える化

問 河川の監視カメラや水位計などの設備を活用し、リアルタイムに市民に情報提供できれば、大雨時の避難準備に活用できると考える。現在、国や県のウェブ

サイト上では、これらの情報をリアルタイムで確認することができず、本市においても同様の取り組みを行うことはできないか。

答 市内の河川等の状況をリアルタイムで把握し、水防活動等に活用することを目的に、監視カメラを12カ所、水位計を12カ所に設置

女性の経済的負担の軽減

問 経済的理由等により、女性が生理用品を購入できないことが、一般社会問題となっている。本市では女性の経済的負担の軽減を図るため、防災備蓄の生理

用品等を女性支援セットとして配布したところであるが、セット内容の詳細について問う。また、今後生理用品をどのような方法で配布していく予定なのか。

答 配布した女性支援セットの内容は、防災備蓄品の生理用品、保存水、アルファ米、ライスクッキー、マスクと併せ、防災意識の醸成を目的として水害ハザードマップも配布した。今後の生理用品の配布方法としては、公立小中学校の保健室に防災備蓄として設置し、平時には必要な児童や生徒に使用してもらう。また、市が生活困窮者を対象として、相談支援を実施している「市川市生活サポートセンター」において、相談状況に応じて生理用品を配布することとしている。

コロナワクチンの接種

問 コロナワクチンが無駄にしないための取り組み、集団接種の運営体制、自力で接種会場に赴くことができない市民等への支援、障がい者施設利用者及び従事者の予約方法と接種時期について市の見解を問う。

答 ワクチンが無駄にしないための取り組み、集団接種の運営体制、自力で接種会場に赴くことができない市民等への支援、障がい者施設利用者及び従事者の予約方法と接種時期について市の見解を問う。

創生市川



松永 修巳

国松ひろき

石原たかゆき

大久保たかし

〔総括質問者〕
稲葉 健二

加藤 武央

金子 正

岩井 清郎

コロナワクチンの接種

問 新型コロナワクチン接種については、様々な事情により自ら接種会場に行けない市民もいるが、支援策はあるのか。また、1回目の接種を受けた後、2回目

の予約をしていない65歳以上の市民への対応について問う。また、アレルギー等で接種ができない、あるいは接種を希望しない市民が差別的な扱いを受けないよう、市はどう対策するのか。

答 様々な事情により接種会場に行けない市民への支援については、他市の事例

幼児教育

問 本市では、特別支援が

必要な子どもを受け入れる私立幼稚園に対し、支援体制を整えるための費用を補助する事業を実施しているが、本市でも発達センターや医療機関等の証明を受けていない園児は、補助の対象外となってしまう。支援が必要と思われるものの、保護者の意向で証明を受けていない園児も、補助の対象とすることはできないか。

答 現在、国が推進している、幼稚園における2歳児以下の預かり事業について、本市でも実施すべきと考えているが、市の見解を問う。

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、現在、本市にはまん延防止等重点措置が適用されており、公民館等の公共施設においては、部屋の貸し出し時間等が制限されている。更に、飛沫がリスクとされるコーラスやカラオケ等を行うサークル等に至っては、貸し出しそのものができない状況である。

公共施設の利用制限

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、現在、本市にはまん延防止等重点措置が適用されており、公民館等の公共施設においては、部屋の貸し出し時間等が制限されている。更に、飛沫がリスクとされるコーラスやカラオケ等を行うサークル等に至っては、貸し出しそのものができない状況である。

答 これらのサークル等に対して部屋を貸し出せるようにすることは、文化芸術活動の支援にも繋がるものと考えられるが、今後の部屋の貸し出しについて、市はどのように考えているのか。

答 現在本市に適用されているまん延防止等重点措置については、国や県から今後の方針が示されていないことから、措置解除の見通しは不透明となっている。しかし、これまでの公共施設の利用制限により、市民にとって不便な状況が長期に及んでいることに加え、現在、本市における新規の感染者数も減少していることなどから、条件を付した上で、段階的に開放していくことについて検討したいと考えている。



利用が制限される公共施設（写真：中央公民館）



新型コロナワクチン集団接種会場（第1庁舎2階）